

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ゆにば		公表日		2025年 2月 26日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		学習の習慣づけをするために到着したら学習室へ入ることを基本としています。	活動スペースを使うこともしていますが、学年が変わることで利用開始時刻もかわってくるため、様子をみて検討していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	児童指導員等は基本4名で対応しています。	これまで通り対応していきます。なお、お子さまを学校へお迎えに行く際、添乗員として児童指導員も外出することがあり4名で対応できないことがあります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	5	入口まではバリアフリー化されていますが、室内は怪我防止と防音のためクッションをひいており、クッションマットでつまづきやすいところの指摘があった部分には対応しています。	4階にあり階下への騒音防止のためクッションをひいています。バリアフリー化との両立は難しいです。クッションマットでつまづきやすいところの指摘があった部分には対応しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	2	アルコール消毒や常時換気など、室内の空気環境を整えています。また、広いスペースを活用し、活動に応じて区切って利用しています。	これまで通り対応していますが、清掃忘れがないかチェック表の利用も検討していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		部屋が複数あるため、状況に応じて使い方を変更し、子どもが利用できるように対応しています。	これまで通り対応していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		業務改善は適宜進め、ICT化による効率化を推進しています。	業務の改善は進んでいますが、PDCAサイクルとしては十分に活用されておらず、改善が必要です。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		保護者アンケートの内容も踏まえながら、改善点を検討しています。	今後もアンケート結果による保護者の意向も踏まえて改善を進めていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		常勤のスタッフで共有された意見については、業務改善につなげています。	ICT化による業務量の負担軽減を勤めていますが、運用システムの改編を伴うため、時間を要することが多々あります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3		第三者による評価は実施していません。	事業所の自己評価表をもとに、改善点の洗い出しを進めていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		研修を計画的に行っています。	直接支援に関わる研修を増やしていきたいと考えています。
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		ホームページに掲載して公表しています。	内容については、定期的に見直しを行っています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		契約時に保護者面談と聞き取り用紙を元にアセスメントして個別支援計画書を作成しています。	これまで通り対応していきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		スタッフには、こどものできるようになったことや、できるようになって欲しいことを記載してもらい、個別支援計画書作成の参考にしています。	これまで通り対応していきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		支援開始前に打ち合わせがあり、児童発達支援管理責任者から個別支援計画書に沿った支援内容が共有されています。	これまで通り対応していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		アセスメントツールは一部参照できるようになっていますが、その活用が十分ではありません。	アセスメントツールは継続的に同じ指標で評価できることから、現在の支援方法に組み込む方策を検討し、具体的な導入方法を模索します。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		今年度より、5領域に対する支援を明確にした個別支援計画書が求められており、こども家庭庁から提示されたフォーマットを元に、5領域と関連付けられた支援内容を設定しています。	より良い個別支援計画になるよう、改善すべき部分がある場合は再考していきます。

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		打ち合わせの時に支援プログラムの内容を相談しています。	支援プログラムを相談する機会を増やし、より多くのスタッフが立案に参加できるようになることが望ましいです。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		季節に合わせて、工作や外遊びなどを取り入れながら、活動内容に変化を持たせるよう四季折々の特徴を活かしたプログラムを実施しています。	これまで通り対応しています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		一人でやる気が出ないときは他児にも参加を促し集団として取り組めるよう臨機応変に対応しています。	これまで通り対応しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		児童発達管理責任者からお子さまの状況について報告があり、スタッフ間の情報共有を図っています。	長期休みや学校が短縮日程で終わる際など、全員がそろって情報共有を行うことが難しい場合があり、メモ等による共有が必要となっています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	記録の作成やスタッフ同志でふりかえりをする時間を設けています。気づいた点は児童発達管理責任者へ報告しています。	支援の終了時刻が多少遅くなったため、振り返りの時間が十分に確保できないことがあります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		日々の記録はその日のうちに作成するようにしています。	支援の終了時刻が多少遅くなったため、支援記録を作成する時間が短くなっていることがあります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		6か月に1回定期的に見直しをしています。	これまで通り対応しています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7		身辺自立・創作的活動・地域交流の機会の提供・余暇の提供の活動を組み合わせた支援を行っています。	これまで通り対応しています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		基本的な支援プログラムを維持しながら、子どもたちに声をかけて、どうするか自己決定をする機会を設けています。	これまで通り対応しています。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		本人中心者会議に児童発達管理責任者が出席しています。	これまで通り対応しています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		協力医療機関と提携し、相談支援事業所を中心に、本人中心者会議にて他機関との連携を図っています。	これまで通り対応しています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		保護者から連絡やホームページに掲載されている学校行事を確認してトラブルが生じないように努めています。	学校行事に伴う時間割の変更への対応が十分でないこともあるため、より注意深く確認していく必要があります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4		支援会議で児童発達支援事業者と一緒に情報共有をしています。	今後も状況共有できるよう努めています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		今年度高校卒業される方がいらっしゃるもので、これまでの支援内容をお伝えできる準備を進めています。	情報が伝わるよう、事業所での様子について書面で用意するよう心がけていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3		対応はできていません。	必要に応じて検討していきたいと思えます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6		各種イベント参加で、児童館等地域交流をしています。	これまで通り対応しています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		青愛協にメンバーとして地域活動に参加しています。	これまで通り対応しています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		保護者と日々の利用状況を説明する中で、子どもの状況について情報共有を進めています。	これまで通り対応しています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1	保護者の困りごとに対して、いくつか対応方法をお伝えして考えて頂くきっかけづくりをしています。また、適宜研修等の案内チラシを掲示しています。	普段のお迎え時にも困りごとをお伺いするようにして、対応方法等をお伝えできるように検討していきます。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		見学时に施設概要や支援方法、利用者負担は契約時に説明しています。	これまで通り対応しています。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		半年に一度、保護者面談を実施する中で、悩みや困りごとなど家族の意向を伺い、個別支援計画書に反映させていただいています。	これまで通り対応しています。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		半年に一度、保護者面談を実施した後に個別支援計画書を更新し、保護者に内容を確認していただいたうえで、ご署名を頂いています。	個別支援計画書の提示方法について、より良い方法がないか議論を進めています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		保護者からの求めに応じて助言しています。	これまで通り対応していきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		昨年に引き続き12月に茶話会を開催しました。	保護者が集まる機会が今後できるように、茶話会等の開催を続けていきます。きょうだい同士で交流する機会は検討項目です。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		今年度も苦情はありませんでしたが、保護者が気にしていることを苦情となる前に対処するように心がけていきます。	苦情対応について、研修を通じて内容や対応方法を再度理解し、深めていきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		会報を通じて、事業所の活動を発信しています。	これまで通り対応していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		支援活動以外に個人情報をういさないよう注意しています。	これまで通り対応していきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		お迎えや送迎時に今日の様子を伝え、話をしやすい環境づくりに努めています。	これまで通り対応していきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	1	地域の公民館等の行事参加させて頂くことで、地域交流を含めた活動を行っています。	今後も地域のイベントに随時参加させて頂くことで、事業所の活動を知っていただく機会を作りたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		各種マニュアルの策定をしています。	訓練が十分でない対策もあるので、今一度見直しを行い、計画的に実施するように立案をして参ります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		BCPは策定済みです。非常災害に備えて、必要な訓練を順次進めています。	定期的に訓練が実施されるように計画を立てていきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		保護者と連絡を取りながら、薬がある鞆の場所や服薬についてのタイミングなど伺っています。	必要に応じて、保護者と連絡を取り合っています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		保護者からの聞き取りで食物アレルギーの情報を収集しています。キッチンに指導員が確認できるリストを掲示し、口に入れることがないように配慮しています。	保護者から最新の情報をいれ、スタッフとの情報共有を行っています。おやつのアレルギー品目のダブルチェックをしています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		安全計画は作成済みで、計画に沿って安全確認をしています。	安全計画については見直しを行い、より安全管理された事業運営ができるようにしていきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		ご家族への周知はできていません。	今後、事業所の機関紙「ゆにば」便りにて情報発信をしていくようにします。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		ヒヤリハット事例はスタッフ間で共有しています。	怪我に至らない事案がないかスタッフに周知していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		年2回虐待防止・身体拘束についての研修をしました。	今後も継続して研修を実施し、虐待のない事業運営をしていきます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		身体拘束を要する子どもはおらず個別支援計画書に記載したことはありません。身体拘束の要件について理解を深める研修をしています。	必要がある場合には個別支援計画書に記載していくこととなります。	